

(1) 食事調査の結果

まず認識すべき点は、食事に対する支出金額の規模である。外食の多い昼食でさえ1食に50円程度しか支出していない。また、都市部と地方で食事の支出金額に多少差があるが、そこまで大きくなく、最大で1.5倍程度である。但し、都市部では朝食と昼食に外食が多い。

おやつには10～20円程度の支出をしている。回答者のほとんどが3食以外におやつとして食事を取っている。おやつといってもスープやサラダが多く、学生や児童であればチップスやビスケットを食べている模様。栄養価の高いヘルシーなおやつを希望する回答は多いが、それでも15円程度である。このことから、現時点でのおやつとしてのポン菓子の価格は、1食分で15円程度(500Ar相当)が妥当な価格とみられる。都市部と価格差を付ける、または二次加工により付加価値を付けるにしても、現時点ではあまり大きな金額を設定すべきではない。回答の傾向から、最大でも2倍程度(1000Ar程度)までとみられる。

おやつの購入場所はキオスクが多いが、市場で購入している回答もある。一方、スーパーと回答したケースは無い。ポン菓子の販売先として、まずはキオスク、次に青空市場であるが、スーパーでの販売は現時点では想定しないほうが良い。



写真 4-1 タナ市場で販売されているおやつの例

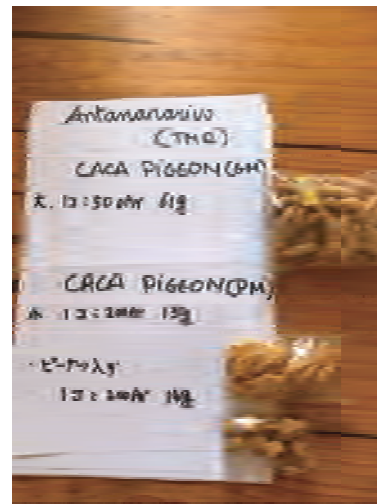
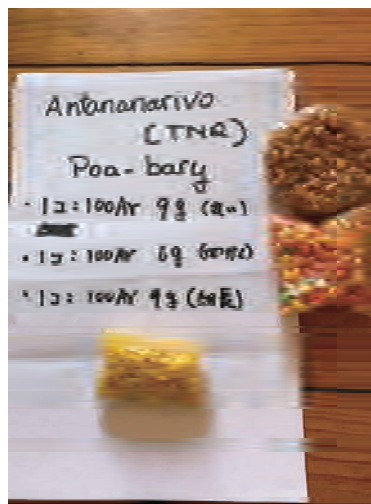


写真 4-2 アンタナナリボでのおやつ販売例

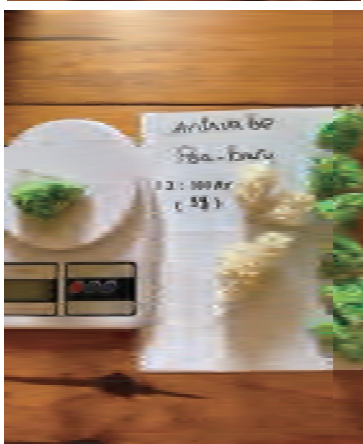
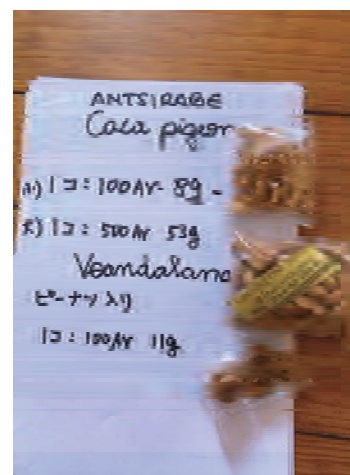


写真 4-3 アンチラペでのおやつ販売例